

石川町道の駅基本構想（案）・基本計画（案）に関する意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

1 意見公募（パブリックコメント）実施結果

案 件 名	石川町道の駅基本構想（案）及び基本計画（案）に関する意見公募
意見募集期間	令和3年1月8日（月）～令和3年1月29日（金）
意見提出者数	13人
提出意見数	80件
意見提出者の内訳	直接窓口へ持参 8人（自治センター受付含む）
	郵 送 1人
	ファックス 3人
	電子メール 1人

※ 同様の意見等は、集約のうえ1件として計上しています。

※ 氏名や住所等必要事項に記載のないものについては、計上していません。

## 2 意見公募によって提出いただいた御意見及び町の考え方

### 【取りまとめの注意点】

提出いただいた御意見等につきましては、取りまとめの都合上、適宜整理・要約させていただいております。

また、掲載していない内容につきましては、他の政策や事業等に係る御意見としてお伺いし、参考とさせていただきます。

項目	御意見の概要	町の考え方
候補地に関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道の駅設置場所が候補地段階で特定の場所に限定され、概算事業費を算出している。</li> <li>○候補地C（大橋地内）については移転補償等もあり、適地選定の見直しも必要ではないのか。</li> <li>○市街地から歩きでも行けるような近くにあること。</li> <li>○一番立地が良いのは、候補地B（セブンイレブン長久保店の後ろ）である。</li> <li>○候補地C（大橋地内）は最適。</li> <li>○国道沿いの候補地は適当である。</li> <li>○候補地C（大橋地内）は立地的に入りにくさがあり、キャッチ率が上がらない。</li> <li>○コンビニ店舗開発の場合、半径2.5km内に7,000人以上の人口が必要である。</li> <li>○来場の対象者を石川町内から野木沢地内の住人に切替えたことになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○候補地については、交通量や確保可能な面積、周辺住宅への影響、安全性（浸水等）、眺望など複数の項目を総合的に検討した結果、候補地Cが有力な候補地であると考えています。（基本計画(案)P39）</li> <li>○道の駅の利用対象者は他の商業施設と同様ではありませんが、参考とさせていただきます。</li> </ul>
事業費に関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>○候補地Cで事業費を算出しているが、用地買収や操業している企業への補償費が計上されていない。</li> <li>○起債（借入）や建物の維持管理費・事務委託費などの増加は町の財政を圧迫するのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○用地買収費と補償費については再検討します。なお、詳細な事業費は、導入施設や整備予定地が決定次第、測量、地質、補償、不動産鑑定、設計積算等の調査後に算出します。（基本計画(案)P68）</li> </ul>

	<p>○イニシャルコストとランニングコストを含めたライフサイクルコストも建築物の耐用年数で示すべきである。</p> <p>○調査設計費を含めた 337 百万円は補助金の対象となるか。</p> <p>○概算事業費の工事費約 648 百万円で整備できるのか。</p> <p>○道の駅に関する国の補助金は最大で 70%、残りの約 200 百万円は町の負担になるのではないか。</p> <p>○当初予算を低く抑えて多額の追加予算など、今までと同じようなことをするのか。</p> <p>○町の将来を左右する大きな事業ですから、資金計画も示してほしい。</p> <p>○補助はどの位で、町の負担はどうか。</p> <p>○財源はどうか？自己財源・借入金との比率・返済方法・期間等。</p> <p>○工事費・建設費の積算は適正か。</p>	<p>○財源については、基本計画（案）に記載のとおり社会資本整備総合交付金をはじめとした国県の交付金等や交付税措置の有利な過疎対策債等を可能な限り活用して町の負担軽減を図ります。（基本計画(案)P62～63）</p>
<p>概算収支計画等に関すること</p>	<p>○市場調査を専門家に相談しているのか。</p> <p>○専門家と話し合い、利益の出るような道の駅にする。</p> <p>○商業実績があり、利益の出せる人に運営していただきたい。</p> <p>○売上高の確保と指定管理料の抑制は町民の理解を得るためにも再検討すべきである。</p> <p>○収支計画の僅かな利益では、町の赤字補填額が多額になり、財政をより圧迫するのではないか。</p> <p>○県内の”道の駅”のほとんどが赤字と云う中で、果たして採算、運営が可能なのか。</p> <p>○営業利益の約 730 百万円は赤字を指定管理料で補填することではないか。</p>	<p>○今後サウンディング型市場調査※1を実施し、民間事業者による独立採算運営の可能性や導入する施設の内容、規模など町の財政負担を極力抑制しながら魅力ある道の駅を整備するための検討をしていく予定です。</p> <p>また、詳細な概算収支計画については調査の結果を踏まえ策定します。</p> <p>※1 対話により民間事業者から市場性や幅広いアイデア、意見を求め、事業に反映させることでより効果的な事業実施を目的とする調査です。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既存の道の駅では利益が出ているのか。</li> <li>○概算収支、減価償却費、返済金の支払い利息などを含む詳細な事業予測を示してほしい。</li> <li>○赤字になった場合どうするかなど、詳しい情報を町民に周知してほしい。</li> <li>○管理運営の概算収支計画の根拠と裏付けは理解できない。</li> <li>○管理運営に係る概算収支が年間利用客 511, 756 人で収益が 22, 000 円なら農産物直売所メインの計画を見直す必要があるのではないか。</li> <li>○売上予測にある最低限の客数設定には矛盾がある。</li> <li>○指定管理料 730 万円は適正なのか。</li> <li>○一般管理費 8, 500 万円は、職員 18 名分の人件費なのか。</li> <li>○管理運営に係る概算収支は各部門の独自試算をしたのか、近隣の道の駅の売上げの平均値ではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指定管理料は、町が本来管理しなければならない非収益施設（公衆トイレ、駐車場、情報発信施設等）の管理を運営主体に管理委託料として支出するものであり、赤字を補填するものではありません。</li> </ul>
<p>地域振興施設（農産物直売所）に関する こと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農家の高齢化と後継者不足から生産者の確保は難しいと考える。</li> <li>○農業者等が農産物等を安定供給できるよう支援対策を早急に手当てすべきである</li> <li>○農業基盤の整備されていない中、農家の高齢化が進み後継者もなく農家数が減少し耕作放棄地が急激に増えている現状で農産物等を年間通して安定的に供給できるのか。</li> <li>○畜産農家の著しい減少のなか「いしかわ牛」のブランド化など無理ではないか。</li> <li>○新規就農者もあるようだが、実質、農業に係れる人はどれだけいるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担い手の確保、育成は道の駅整備にかかわらず、町の重要な課題であるため、引き続き各種施策等を展開してまいります。</li> <li>また、農産物の安定供給についても、町から農業者へのさらなる支援等を検討してまいります。</li> </ul>

<p>基本計画等に関する こと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本構想（案）、基本計画（案）ともにデータも豊富で申し分ない。</li> <li>○この計画は、石川町の実態からかけ離れており、理想にすぎない。</li> <li>○計画には町の検討委員会の意見がどれだけ反映されているのか、また町議員が本計画にどのように参画しているのか。</li> <li>○町の現状である農家の高齢化による耕作放棄地の増大や兼業化、また若者の流失による人口の急激な減少に伴う国の過疎の町指定など、わが町の現状認識をシビアに分析された計画になっているのか。</li> <li>○資料は現在のデータで作成されているが、今後周辺地域も人口減少することを考慮しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○石川町道の駅整備検討委員会では、令和元年から令和2年にかけて7回の委員会や先進事例調査を行い、基本構想及び基本計画策定のため検討してまいりました。また、石川町議会からは、平成30年に政策提言書が町に提出され、その後も町と議会の意見交換会を複数回実施しています。</li> <li>○本町では、人口減少や少子高齢化に伴い、地域産業の衰退化・弱体化が懸念されています。そのため地域活性化、町内外交流の活性化により地域活力の向上を図り、人口減少に歯止めをかけ、持続可能な町を目指すための拠点づくりを目的として道の駅を整備したいと考えています。（基本計画(案)P1）</li> </ul>
<p>地域資源に関する こと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自由民権運動発祥など石川の歴史遺産を紹介して交流人口の拡大と増加を図り、目的を達成する計画にするべきである。</li> <li>○「日本三大鉱物産地」としての鉱物館併設を考えるべきではないか。</li> <li>○多くの客数を確保するため石川町の資源や人材等を活用していく具体的な施策の構築が急務である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の文化、歴史、観光など魅力ある観光資源を活用した個性豊かな道の駅となるよう検討してまいります。（基本計画(案)P42～46）</li> </ul>
<p>特産品開発等に関する こと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野菜だけでなく、高付加価値のある食品加工など特産品開発ができるかが重要である。</li> <li>○また買いに来るとか、近所で話題になる商品売るような工夫がとても重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特産品開発は町の産業活性化のためにも重要ですので、道の駅でも取り組んでいく必要があると考えています。</li> </ul>
<p>情報発信に関する こと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まずは来て頂くため、SNSによる情報発信が基本構想や基本計画にも必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○SNSやホームページは、情報発信に非常に重要なツールであると考えていますので、基本計画への追加をいたします。</li> </ul>

	<p>○道の駅整備までの情報発信をしていくことで開業前からファンを増やし、地方のニーズに柔軟な対応し、活性化を図ることが大事である。</p>	<p>また、今後は事業の進捗状況や計画の内容を随時広報誌やホームページを通して、皆様に伝えていきたいと考えています。</p>
<p>その他</p>	<p>○魅力があれば、どこでも人は行く。</p> <p>○来客者を町商店街に効果的に誘導する仕組みをつくり、商店街活性化の武器にすべきである。</p> <p>○道の駅は、撤退や変更をにらんだ規模を考えたほうが良い。</p> <p>○後世につけを残さないよう慎重な判断をお願いしたい。</p> <p>○投資回収の計算や夜中の長距離トラック利用が見込めるコンビニを併設したほうが良い。</p> <p>○町主導で農家や出荷者への十分な研修が必要である。</p> <p>○ハーブで町興し（畜舎の悪臭も少なく、味も格段に良くなるハーブで育てた食肉販売）</p> <p>○道の駅を造ることに賛成か反対かのアンケートが必要である。</p> <p>○営業利益の赤字削減と指定管理料の縮減を図るために直売所のJA直営を提案する</p> <p>○人口問題が急速に進む中、今後道の駅が本当に必要なのか。また維持管理できるのか。</p> <p>○町内には菓子店も多いので、菓子店をメインにすることも良いと思う。</p> <p>○婦人グループの創設により、料理や菓子類などを商品化、加工して販売したらどうか。</p>	<p>○町では、地域活性化の拠点が必要であると考え、ゲートウェイ型の道の駅を整備する予定です。整備予定の道の駅では、商店や文化、歴史、観光などの情報発信をしながら、町内各所へ人の流れを誘導したいと考えています。（基本計画(案)P37）</p> <p>○今後サウンディング型市場調査※1を実施し、民間事業者による独立採算運営の可能性や導入する施設の内容、規模など町の財政負担を極力抑制しながら魅力ある道の駅を整備するための検討をしていく予定です。</p> <p>また、詳細な概算収支計画については調査の結果を踏まえ、策定します。</p> <p>※1 対話により民間事業者から市場性や幅広いアイデア、意見を求め、事業に反映させることでより効果的な事業実施を目的とする調査です。</p>

	<ul style="list-style-type: none"><li>○いしかわ牛を扱うのであれば、説明もできるような専門レストランでないと思う。</li><li>○農産物に「B級コーナー」を設け、安く売る。そして生製品の廃棄を少なくする。</li><li>○職員から納品業者まで道の駅に携わる人すべてに教育を望む。</li><li>○施設はミニマムで中身の濃い、プラットホームになるようなものが良い。</li><li>○全国的に人口が減少している現在に、相当大きな施設を造る計画はマッチしていない。</li><li>○「有るといいね」的なものばかりの内容では何度も利用されることは難しいと思われる。</li><li>○地場産品や農産物の直売所を中心に、「小さいけれど心温まる直売所」から始めてはどうか。</li><li>○石川町だけでは負担が大きいので、隣接町村と共同で整備してはどうか。</li><li>○財源や諸般の状況をふまえ直売所的なものから出発したらどうか。</li><li>○施設が他とは変わらず魅力がない。</li><li>○農業生産者のアンケート調査を見ても、出荷可能とする農家が僅か37.5%、加工団体のアンケートでは農業が活性化すると答えたのはゼロ、農産物直売所をメインにした計画は町民の多くが難しいと考えている。</li><li>○誘客を図るためにも強力な磁石となる「そば処 吉野家」の県内1号店を誘致すべきである。</li></ul>	
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"><li>○玉川村「こぶしの里」のさるなしを加工した商品、地元の特産品を活用した商品化したらどうか。</li><li>○母畑温泉八幡屋の利用客に道の駅を入れた石川町観光バスコースを作成してはどうか。</li><li>○売り切れそうになったら、納入者に連絡が入るシステムが必要である。</li></ul>	
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--